

活用のための参考データ ・ ・ 基本的な養育費、教育費

さてその「児童手当」。少しでも有効に使いたいところです。そこでまず、子育てにかかる費用を一覧にまとめてみました。まず、基本的な養育費。じっくりながめるとため息がもれてきますが、これは日常の生活費から検出していくものですね。

出産から 22 年の総費用

基本的な養育費 約 1,640 万円	出産・育児費用・・・・・・・・・・	約 91 万円
	子供の食費・・・・・・・・・・	約 671 万円
	子供の衣料費・・・・・・・・・・	約 141 万円
	子供の医・理美容・・・・・・・・・・	約 193 万円
	子供のお小遣い・・・・・・・・・・	約 451 万円
	子供の私的所有物代・・・・・・・・	約 93 万円

続いて教育費です。

表をご覧くださいただければお分かりの通り、大学進学の際の教育費用が突出していることがわかります。

	公立	私立
幼稚園 2 年間	約 64 万円	約 147 万円
小学校 6 年間	約 308 万円	約 777 万円
中学校 3 年間	約 229 万円	約 525 万円
高校 3 年間	約 252 万円	約 479 万円
大学 4 年間 (医系は 6 年)	約 492 万円 (国立)	約 604 万円
		約 720 万円 (私立理系)
		約 2,965 万円 (私立医系)

「大学全入学時代」という言葉をご存知でしょうか？

2004 年に文部省が発表した資料によると、2007 年度には大学志願者数＝合格者となり、希望すれば事実上必ず大学に入れる環境がもうそこまで来ているのです。

そこで提案したいのが、児童手当を上手に活用した、学資保険プランです。学資保険の積立額、毎月 1 万円のうち 5,000 円を児童手当でまかなえば、ご自身でお支払いになる金額は、半額の 5,000 円で OK というわけです(なお、児童手当の支給の終わる 12 歳以降 15 歳までは、毎月 10,000 円のご負担となります)。